



**IBARAKI TOYOPET  
RACING TEAM**

## **GR86/BRZ Race 第4戦 オートポリス**

**雨に見舞われたオートポリスの予選は5番手、ヒート1は4位！  
しかし、ドライに転じたヒート2では悔しさも残すが入賞果たす**



GR 86/BRZ レース プロフェッショナルシリーズ第4戦

2019年6月15～16日 オートポリス (大分県)

晴れ 10周×2ヒート (24台)

予選5番手/決勝第1ヒート4位/第2ヒート10位

ドライバー：中山雄一

チーフメカニック：池戸誉 (GR Garage つくば)

メカニック：清水修 (GR Garage つくば)

メカニック：荒井智博 (つくば東大通り店)



IBARAKI TOYOPET RACING TEAMが「GR Garage つくば86R」で中山雄一選手とともに挑む、GR 86/BRZ レース プロフェッショナルシリーズの第4戦がオートポリスで開催され、今回も2ヒート大会としてレースが行われた。ドイツ・ニュルブルクリンクでのレース出場のため、前回のレースを欠場したこともあり、中山選手にとっては2か月ぶりのレースではあったものの、その間にもさまざまなレースを戦っていることもあり、些かも支障とはならなかったようだ。また、阿蘇山中に位置するオートポリスは、天候が不安定なことでおなじみ。九州地方はまだ梅雨入りしていないにも関わらず、このレースウィークはコンディションが安定せず。ただ、そのおかげでさまざまなセットを試すことができた。

土曜日の10時55分から開始された予選は、あいにくのウェットコンディション。ただし、それまで降り続いていた雨は、霧とともに上がっていた。後半に路面状態が向上する可能性もあるが、ここまでの予選は赤旗中断が連発。そこで中山選手はあえてピットで待機することなく、コースオープンと同時に走行を開始する。この判断は賢明だった。中山選手が2分17秒409をマークして、その時点での3番手につけた直後に赤旗が出されたからだ。

いったんピットに戻り、計測再開後もワンアタック行った中山選手ではあったが、すでにタイヤはピークを過ぎており、2分18秒679をマークするのがやっととあって、終了を待たずにピットイン。ほぼタイミングを同じくして2台に先行を許すも、終了直前には再び雨が降り始める。その結果、中山選手は5番手を獲得。「GR Garage つくば86R」とともに決勝ヒート1には、自己ベストとなる3列目からスタートを切ることとなった。

「ベストタイムを出したあたりが雨量も少なく、タイミングは最高だったんですが、その中で引っかけたまま。それでも5番手。(タイヤの)内圧がかなりシビアなので、決勝の雨量にちゃんと合わせられるかが鍵になりそうです。まずはしっかりとポイントを獲得していきたいと思います」(中山選手)

予選での赤旗連発や、先に行われたクラブマンシリーズのヒート1で2回もセーフティカーが入ったことから、スケジュールは大幅な変更を余儀なくされ、当初の予定を30分近く遅れて15時10分に決勝ヒート1は開始された。雨はかなり弱くなったものの、引き続きウェットコンディションでの戦いにおいて、中山選手はそつなくスタートを決め、まずはポジションキープからレースを始めることとなる。オープニングラッ

ブは文字どおり団子状態の中、先行する1台にコースアウトがあったことから、中山選手は4番手にポジションアップ!

しばらくは前後から挟まれる形でバトルを繰り広げていた中山選手ながら、中盤以降のペースが今ひとつ。3番手の車両を逃してしまった一方で、後方から迫る2台はしっかりと抑えて周回を重ねていく。そのバトルの最中に軽い接触こそあったものの、コンマ2秒という僅差ながらも逆転を最後まで許さず。その結果、自己ベストをまたも更新する4位で中山選手はゴールした。

開けて日曜日に行われる決勝ヒート2のスタートは10時35分。早朝こそまた霧に見舞われていたものの、時間の経過とともに天候は回復。マシンがグリッドに並べられた頃には、路面はほぼドライコンディションとなっていた。スタートはしっかり決めて、引き続きポジションキープからのレース発進となった中山選手。トップを争う2台こそ早々に離れていった一方で、3番手を争う集団の中で周回を重ねていくも、路面状態がより向上していった中盤からのペースが思うように上がらなくなる。

そのため、後続車両の先行を何度も許してしまうが、中山選手は諦めることなく走り続けた結果、10位でフィニッシュ。ヒート1に続いてポイントを獲得する。ここまで順位は右肩上がりに来ていただけに、やや残念な結果ではあるものの、改めて中山選手の粘り強さを感じさせるレースとはなっていた。

次の戦いの機会は7月6~7日に行われる、富士スピードウェイでの第5戦となる。中山選手にとってホームコースであり、相性の良さは第2戦で実証済。86/BRZ レースでの初表彰台をまずは期待することとしよう。

#### #18 中山雄一選手のコメント



第1ヒート「スタートで1台抜いたんですが、後ろの1台には抜かれました。でも、そのクルマがスピンして4番手に上がって、このまま何とか3位を狙っていきたいなと思った序盤だったんですが、なかなかペースが上がらなくて置いていかれて。後ろが追いついて苦しい、防戦一方の10周でした。すごく疲れたんですが、後ろの2台がクリーンなバトルをしてくれたので良かったです。ただ1周のスピードが出ないと何ともならないので、そのあたりを課題としつつ、4位が獲れて良かったです」

第2ヒート「今週、ドライでは練習でも完全に合わせきれず、こんな感じだったので、もともとの順位に戻ったかな、と。予選、ヒート1で雨降って良かったです(苦笑)。それでも、序盤は悪くなくて着いていけたんですが、バトルして集団に入っちゃうと、全然加速しなくて飲み込まれてしまいました。次、頑張ります」



**GR86/BRZ Race**

**BRIDGESTONE**

Racing Development  
**TRD**

**PMU**

**BILLION**  
OILS

**BRIDE**